

令和4年度 標茶町立虹別小学校の教育

令和4年4月1日

学校の教育目標

- 1 進んで学び、よく考える子ども 知
- 2 明るく、心の豊かな子ども 徳
- 3 健康で、元気な子ども 体

実態

- ・保護者・地域
 - ・児童
 - ・学校
- 願い
- ・保護者・地域
 - ・児童
 - ・教職員

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・北海道教育
- ・釧路管内教育
- ・標茶町教育

めざす学校の姿

- 子どもにとって～喜びを感じる
→「行きたい」学校
- 保護者にとって～信頼できる
→「行かせたい」学校
- 地域にとって～誇りをもてる
→「支えがいのある」学校
- 教職員にとって～感動のある
→「やりがいのある」学校

学校課題

『子ども一人一人を大切に、
「生きる力」を確かに育てる教育の創造』

めざす教職員の姿

- 教職に対する強い情熱・使命感と子どもへの深い教育的愛情をもつ教職員
- 教育の専門家として実践的指導力や専門性向上に主体的に取り組む教職員
- 学校づくりを担う一員として連携・協働しながら課題解決に取り組む教職員

経営の基本方針

- 新学習指導要領の趣旨を生かし、知・徳・体のバランスのとれた心豊かなたくましい子どもを育む
- へき地・複式・小規模校の特色を生かし、ふるさとへの愛着と誇りを持てる教育活動の創造に努める
- 社会に開かれた教育課程を実現し、地域とともにある学校づくりを目指す

本年度経営の重点

- GIGA スクール構想の実現（1人1台端末の効果的活用による個別最適な学びの充実）
- 研修の完遂（3年計画の最終年度、話し合う力・コミュニケーション能力の向上、町研究指定校・自主公開）
- 教科担任制の推進（高学年理科：指導体制の工夫、高学年算数：中学校との連携）
- 地域とともにある学校の再構築（保・小・中連携の強化、GSの充実と拡充）

めざす子どもの姿

「確かな学力」の育成

- 自分の考えをはっきり話す子
- 人の話を注意して聞く子
- ・道筋を立てて考える子
- ・自分で計画し、進んで実行する子

「豊かな心」の育成

- 気持ちの良い挨拶や会話のできる子
- 友達と仲良く助け合う子
- ・進んで親切にする子
- ・相手の気持ちを考えた言動ができる子

「健やかな体」の育成

- 粘り強く最後まで頑張る子
- 元気よく友達と遊ぶ子
- ・安全、清潔に気をつけて生活する子
- ・自分や他人の命を大事にする子

○基礎・基本の習得と活用能力

- ・「わかる・できる・楽しさ」を実感できる授業づくり
- ・「主体的対話的な深い学び」の実現
- ・思考・判断・表現力の育成
- ・言語能力・情報活用能力の育成（聞く、話す、話し合い活動の重視）
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・学習常規・学習スタイルの定着
- 個に応じたきめ細かな指導
- ・個別最適化（ICT機器の効果的活用）
- ・繰り返し指導の重視
- 今日的な教育課題
- ・教科担任制の推進（高学年理科・算数）
- ・外国語教育の充実（デジタル教科書）
- ・ふるさと・キャリア教育の充実
- 家庭学習の習慣化
- ・「宿題」の徹底、「自主学習」のススメ
- ・保護者との連携

○道徳教育

- ・特別の教科道徳を要に道徳教育推進
- ・「考え議論する道徳」の授業づくり
- ・積極的な授業公開（家庭・地域）
- ・指導と評価の一体化

○生徒指導

- ・時と場に応じた挨拶・返事・言葉遣い
- ・校内外のきまりの順守と社会性育成
- ・相手の立場や気持ちを考えた言動
- ・いじめ等（未然防止、早期発見・対応）
- ・共感的理解を基盤とした指導の充実（教育相談、面談、情報交流）

○特別活動

- ・ねらいを明確にし、主体的な態度育成
- ・自己有用感を育む活動の充実（虹っ子班、児童会、行事等）

○読書活動

- ・家読のすすめ（保護者との連携）

○健康教育

- ・新体力テスト（全学年で実施）
- ・児童の実態を踏まえた体力づくりと検証改善サイクルの確立（授業、業間、行事、個人目標）
- ・運動や外遊びに親しむ取組の推進
- ・「やりぬく力」の伸長
- ・健康保持のための日常的、継続的指導（コロナ対応、生活リズム、性教育等）

○食育

- ・栄養教諭との連携（栄養指導、調理実習・調理場見学）

○安全教育

- ・自他の命を大切に、安全に関する情報を正しく判断し行動できる指導（避難訓練、交通安全活動、防犯活動等）

「学習基盤」の整備・充実

- ① 研修（3年計画の最終年度、学校の特色を生かした校内研修の充実、教員の資質・能力の向上）
- ② 保小中の連携・接続（学びの連続性、円滑な接続、保：スタートカリキュラム、中：教科担任制、義務教育9年間の学び）
- ③ 社会に開かれた教育課程（CSの充実と拡充、ビジョン共有・熟議、地域の教育資源活用、体験学習の充実、情報発信）
- ④ 学級経営（学校教育目標の具現化、学校経営と学級経営のリンク、RV-P（G）DCAサイクル）
- ⑤ 組織力の向上（チームとしての学校、役割と責任の自覚と組織的な校務遂行、働き方の工夫・改善、教育公務員の自覚）
- ⑥ 教育環境の整備（ICT環境の整備、教材・教具の整理・充実、校舎内外の環境整備・工夫、校舎内外の遊具等の点検）
- ⑦ 特別支援教育（実態把握と支援の工夫、保護者・関係機関との連携、組織的支援体制強化、交流学习の充実、専門性向上）